

結果および考察

マルアジの再捕結果を表2に示す。再捕率は1.6%で、前年度をやや上回った。

放流後3日以内に放流場所に近い湯浅湾内で再捕されたものが全体の97.3%を占め、前年、前々年度とほぼ同じ傾向を示した。つまり、マルアジ1歳魚は産卵期の6月においても紀伊水道内に留まるものが多いのに対し、2歳魚以上は紀伊水道内での再捕率が1歳魚よりも低いことから、大阪湾～播磨灘方面へ回遊している可能性が考えられる。

当事業では平成6～8年度にマルアジ、マサバの標識放流調査を実施したが、年1回の放流調査では再捕率が極端に低く有意な結果が得られていないことから、今後放流尾数と放流回数を増やし、周年かつ広範囲にわたる調査を実施していく必要がある。

表2 マルアジ再捕結果

再捕年月日	経過日数	漁法	再捕場所	再捕尾数	うち白色タグ
1996. 6. 14	1	大型定置網	逢井(湯浅湾北部)	30	2
6. 15	2	〃	〃	4	1
6. 16	3	〃	〃	1	0
6. 16	3	小型定置網	大引	1	0
8. 1	49	〃	徳島県和田島沖	1	0